

平成22年度一般会計当初予算説明資料

4款 衛生費

1項 公衆衛生費

衛生環境研究所（電話：0858-35-5411）

6目 衛生環境研究所費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
（新）排水処理におけるホウ素除去メカニズムの解明と新規排水処理技術の開発	2,776	0	2,776				2,776	
トータルコスト	9,230千円（前年度 0千円）[正職員：0.8人]							
主な業務内容	新たなホウ素処理・回収技術の開発							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的

従来技術では処理が困難な排水中のホウ素を処理・回収するホウ素排水処理技術を開発する。

（現在取り組んでいるブラウン管ガラス等のリサイクル技術にも有効）

* 従来技術では処理が困難なため一律排水基準適用が猶予されている業種（金属表面処理関係等）においては、低コストの排水処理技術の開発が必要となっている。

* ホウ素を高濃度で摂取すると腹痛・吐き気等人体に悪影響を及ぼすとされている。

2 主な事業内容

新たな処理・回収技術の開発（実験室レベルでの試験、実排水への適用試験・技術確立（～H23））

3 これまでの取組状況、改善点

○平成13年に水質汚濁防止法に基づく排水基準項目とされたが、全国的に有効な排水処理技術が確立されていない。

○現在、別途開発中のブラウン管ガラスからの鉛除去技術ではホウ素を含む排水の発生が予想され、ホウ素処理技術が必要である。